

北見市における景気動向調査報告書

< 第 II 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成16年10月12日

(2) 調査対象期間 平成16年7月～9月期実績および平成16年10月～12月期見通しについて調査した。

2. 調 査 対 象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回 収 状 況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	21社	70.0%
建 設 業	30社	21社	70.0%
卸 売 業	30社	24社	80.0%
小 売 業	35社	21社	60.0%
サービス業	25社	18社	72.0%
合 計	150社	105社	70.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全体の動き 》

平成16年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」16.2、「悪化企業」52.4、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△36.2となっています。

このD・I値を前期調査<16年度第Ⅰ四半期>と比較してみると前回△28.9→今回△36.2と7.3ポイント悪化、「好転企業」が4.4ポイント減少、「悪化企業」が2.9ポイント増加しており、前期調査との比較では若干悪化傾向を示しています。しかし、前年同期比（△43.1）との比較では、6.9ポイントと好転しており、徐々にではあるが回復傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると製造業D・I値△28.7、建設業D・I値△19.1、卸売業D・I値△37.5、小売業D・I値△47.7、サービス業D・I値△50.0となっており、前年同期調査と比較すると製造業並びに建設業では改善が見られ、サービス業についてはほぼ同じ、他の業種については悪化傾向を示しており、全体的には改善傾向にあるものの依然として厳しい状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」12.4%「悪化企業」52.4%でD・I値△40.0と、前年同期見通し（△46.8）に比べ6.8ポイント改善されており、徐々にではあるが明るい兆しがみえる来期見通しとなっています。

《 業種別の動き 》

1) 製造業

生産高

前年比で「増加企業」14.2%、「減少企業」42.9%、D・I値△28.7と前年同期に比べ4.7ポイントの改善、前期調査との比較では0.2ポイント悪化しているものの、数値的には落ち着きを見せており、徐々にではあるが回復傾向を示しております。

採算

前年比で「好転企業」9.5%、「悪化企業」61.9%、D・I値△52.4と前年同期に比べ9.5ポイントの悪化、また、前期調査との比較でも19.1ポイントの悪化、生産高は持ち直してきているものの、逆に採算性は悪化傾向を示しており暗い状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△52.3、生産高D・I値△52.4、資金繰りD・I値△33.4と、前年同期に比べ資金繰りD・I値はプラス、生産高D・I値はほぼ同じであるが業況D・I値はマイナスを示しています。また、前期調査との比較ではD・I値はすべてマイナスを示しており、暗い来期見通しとなっています。

2) 建設業

完成工事高

前年比で「増加企業」23.8%、「減少企業」47.6%、D・I値△23.8と前年同期に比べ36.2ポイントの大幅

な改善傾向を示しているが、前期調査との比較では23.8ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、前期では明るい兆しが見えてきていたが波があり、全体的にはまだ依然として暗い状況にあり厳しい経営環境となっています。

採算

前年比で「好転企業」19.1%、「悪化企業」57.1%
D・I値△38.0と前年同期に比べて6.0ポイントの改善傾向を示しているが、前期調査との比較では6.2ポイントの小幅であるが悪化傾向を示しており、まだ厳しい状況にあるが落ち着きを取り戻しつつあります。

来期見通し

業況D・I値△42.8、完成工事高D・I値△47.6、資金繰りD・I値△42.8と前年同期と比べすべて改善傾向を示しているが、前期調査との比較ではすべて悪化傾向を示しており、ここにきて再び来期見通は暗い予想を立てています。

3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」16.7%、「減少企業」50.0%、
D・I値△33.3と前年同期と比べ7.3ポイントの悪化傾向を示しており、また、前期調査との比較でも7.3ポイントの悪化傾向を示しており、再び暗い状況となってきております。

採算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」50.0%、
D・I値△33.3と前年同期に比べ7.3ポイント悪化傾向を示しており、また、前期調査との比較では逆に5.9ポイントの改善傾向を示しており、徐々にではあるが採算については明るさが見える状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△33.3、売上高D・I値△33.4、資金繰りD・I値△24.9と前年同期に比べD・I値はすべて悪化傾向を示しており、前期調査との比較でもすべてマイナス傾向を示しており、前期では明るさが見えていたが、暗い予想の来期見通しとなっています。

4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」19.0%「減少企業」57.2%、
D・I値△38.2と前年同期に比べ7.3ポイントと小幅だが改善されています。しかし、前期調査との比較は13.2ポイントの悪化傾向を示しており、依然として全体的に数値も高く厳しい経済環境となっています。

採算

前年比で「好転企業」9.5%「悪化企業」61.9%、
D・I値△52.4.0と前年同期に比べ29.6ポイントの大幅な悪化となっており、前期調査との比較でも27.4ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、前期では明るい兆しが見えていたがここに来て再び暗い状況の経済環境となっています。

来期見通し

業況D・I値△28.7、売上高D・I値△33.3、資金繰りD・I値△38.1と前年同期と比べすべて悪化を示しており、前期調査との比較でもすべてのD・I値は悪化傾向を示しており、採算と同様に暗い来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」22.2%、「減少企業」77.2%、D・I値△55.0と前年同期に比べ5.0ポイントと小幅であるが悪化傾向を示しており、前期調査との比較では11.7ポイント改善傾向にあるが、まだ依然として変動の激しい状況で推移していて、厳しい経済環境となってきました。

採算

前年比で「好転企業」22.2%、「悪化企業」77.2%、D・I値△55.0と前年同期に比べ10.6ポイント悪化傾向を示しており、前期調査との比較でも小幅であるが2.6ポイント悪化しており、依然として数値は高く経済環境は厳しい状況にあります。

来期見通し

業況D・I値△44.4、売上高D・I値△44.4、資金繰りD・I値△38.8と前年同期に比べD・I値はすべて改善する見通しを示しており、前期調査との比較でもほぼ同じ状況にあり、来期見通しについては一部明るさが見えるものの依然として厳しい来期見通しとなっています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人件費増	人材不足
建 設 業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人材不足	売掛金回収難
卸 売 業	得意先減少	同業者間の競合	人材不足	諸経費増	人件費増
小 売 業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人材不足	売掛金回収難
サービス業	諸経費増	得意先減少	同業者間の競合	人件費増	人材不足
合 計	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人材不足	人件費増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。